

# ワークサンプル幕張版(MWS)新規3課題の 活用状況調査報告

- 田村 みつよ（障害者職業総合センター 研究員）  
大谷 真司、藤原 桂、武澤 友広、知名 青子、村久木 洋一  
（障害者職業総合センター）

令和4（2022）年7月、MWS新規課題購入機関を対象に**活用状況調査**を実施。地域障害者職業センターでは、48機関から回答があり機関回収率は $48/52 = 92.3\%$ 。有効回答数は72件。\*以降本発表資料では、9月30日時点での追加回答を反映しており、抄録集原稿とは集計結果が異なっています。

表1 課題ごとの活用率

	A 給与計算		B 文書校正		C 社内郵便物仕	
1支援に活用している	44	61.1%	26	36.1%	63	87.5%
2支援に活用していない	27	37.5%	43	59.7%	8	11.1%
無回答	1	1.4%	3	4.2%	1	1.4%
計	72	100.0%	72	100.0%	72	100.0%

注) すべてを活用しているとする回答は19件、  
すべて活用していないとする回答は1件であった。

(参考) 機構以外の事業所では、14機関から回答があり回収率は14 / 23 = 60.9 %。有効回答14 件の内7件はすべての課題を活用していないとする回答で、活用している回答はn = 7となる。\* 回答数が少ないため、今回は分析の対象としていません。

課題種	A 給与計算		B 文書校正		C 社内郵便物仕分	
購入している	13	92.9%	13	92.9%	8	57.1%
無回答	1	7.1%	1	7.1%	6	42.9%
計	14	100.0%	14	100.0%	14	100.0%

#### 新規課題の活用状況

	A 給与計算		B 文書校正		C 社内郵便物仕分	
1 支援に活用している	6	46.2%	5	38.5%	5	62.5%
2 支援に活用していない	7	53.8%	8	61.5%	3	37.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	13	100.0%	13	100.0%	8	100.0%

注) 購入している課題すべてを活用しているとする回答は3件、すべて活用していないとする回答は6件であった。

## 活用していない理由

(「とても当てはまる」から「全く当てはまらない」の4件法で聞いた)

記号	選 択 肢
イ)	課題の実施方法によくわからないところがある
ロ)	課題の実施方法はわかるが、支援にどのように活用したらよいかかわからない
ハ)	支援対象者が興味を示さない又は同意が得られない
ニ)	自機関では課題の適応対象となるサービス利用者がいない
ホ)	職員の人員体制上実施が難しい

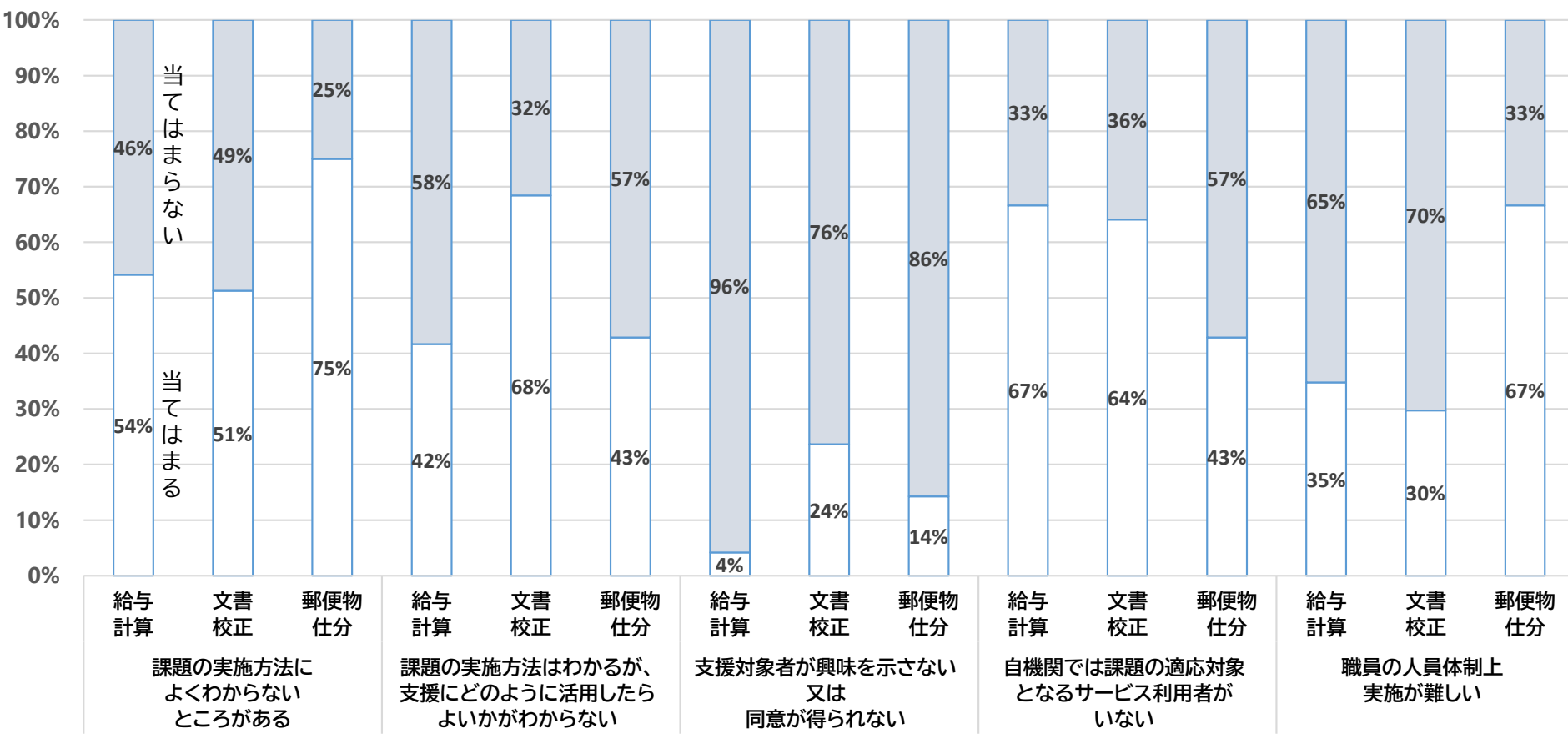


図1 課題を活用していない理由

「とても当てはまる」と「やや当てはまる」を合わせて『当てはまる』（図中の白色の棒）、「あまり当てはまらない」と「全く当てはまらない」を合わせて『当てはまらない』（図中の灰色の棒）として、無回答を除いて集計した。

新規課題を活用して支援を行うのはどのようなシーン（場面）ですか。（複数回答）

	回答数	
1. インテーク面接直後のアセスメント場面 <input checked="" type="checkbox"/>	28	39.4%
A 給与計算 <input checked="" type="checkbox"/>	7	25.0%
B 文書校正 <input checked="" type="checkbox"/>	5	17.9%
C 社内郵便物仕分	21	75.0%
2. 支援計画策定後の訓練場面	48	67.6%
A 給与計算 <input checked="" type="checkbox"/>	34	70.8%
B 文書校正 <input checked="" type="checkbox"/>	19	39.6%
C 社内郵便物仕分	42	87.5%
3. 職場実習の実施を検討する場面	6	8.5%
A 給与計算 <input checked="" type="checkbox"/>	2	33.3%
B 文書校正 <input checked="" type="checkbox"/>	0	0.0%
C 社内郵便物仕分	6	100.0%
4. 就職や復職の直前場面	18	25.4%
A 給与計算 <input checked="" type="checkbox"/>	14	77.8%
B 文書校正 <input checked="" type="checkbox"/>	10	55.6%
C 社内郵便物仕分	12	66.7%
5. その他の場面	1	1.4%
A 給与計算 <input checked="" type="checkbox"/>	0	0.0%
B 文書校正 <input checked="" type="checkbox"/>	0	0.0%
C 社内郵便物仕分	1	100.0%

<5. その他の場面> 準備支援利用者とリワーク利用者の合同グループワークの課題として使用することがある。

## MWSを取り入れた際に想定される支援場面での活用効果

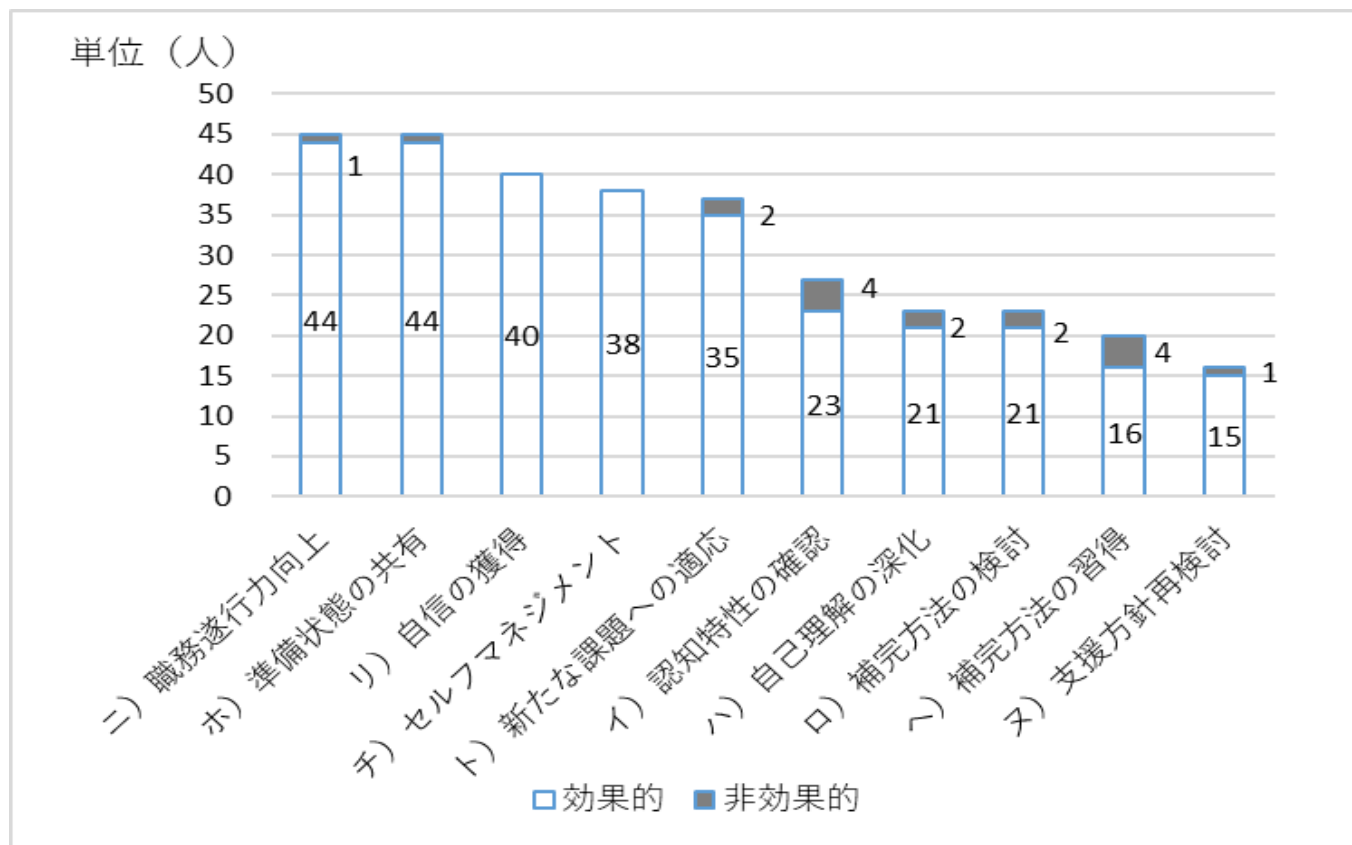


図2 活用効果の分布（効果順）

開発時に想定したイ) からヌ) の支援場面での活用効果について「そういった活用はしていない」回答と無回答を除き集計

## 考察

◆ 活用されていない理由について、支援対象者の興味又は同意が得られない旨の回答割合が全課題で概ね低かったことがあり、既存課題での懸案であった支援対象者の動機付けの問題が、新規課題ではある程度改善されている可能性がうかがわれた。

◆ 課題別の活用状況としては、文書校正の活用率が低いことがあり、〇（支援にどう活用したらよいかわからない）や、二（適応対象者がいない）の回答割合が高かった。



理由として、給与計算は事務系を希望する者、社内郵便物仕分けは現業系を希望する者に活用されることが多い中、文書校正は汎用的な使用がイメージしづらいことが要因の一つとして考えられる。



今後ハンドブックにより活用例を紹介することで対応する予定。